９　外国語

学校番号	T2101

平成３１年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ｉｂ(※)	1	第３	Viva! English Communication I

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ｉｂの授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をバランス良く学習する授業です。英語の基礎的な内容を学習して、それを使ってコミュニケーションがとれることが目的です。ペアワークやプレゼンテーションなどの活動がありますので積極的に参加して英語を習得しましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【１年次～４年次】履修科目：「コミュニケーション英語Ｉｂ」（１単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	インタビューテスト スピーキングテスト	趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて書くことができる。	単語テスト 定期考査	ゆっくり、はっきりと発音される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。	リスニングテスト 定期考査	日常生活で使われる単語で短い文章（携帯メールや招待状など）を理解することができる。	リーディングテスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	英語でコミュニケーションをとることに関心をもち積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で	Can-do リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	Can-do リストによる「聞くこと」「話すこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Warm-up (７時間)	・アルファベット ・教室で使う表現 ・辞書の使い方	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		アルファベットや日常生活で使う単語に関心をもつ。辞書を使って調べることに意欲をもつ。	ワークシートを使って単語を正確に書き、練習する。 ワークシートを使ってリスニングやペアワークを行う。	ペアワークやグループワークにおいて互いに協力しながら学習する。 説明を聞きながらワークシートを完成させる。	ペアワークの参加状況 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語表現の能力」			
		アルファベットを使って単語を正確に書くことができる。 場面に応じて適切に英語で表現できる。 辞書を使って単語の意味を調べ理解できる。	アルファベットや簡単な単語を書いたり発音できる。 ・教室で使われると思われる英語の表現を学習する。辞書の使い方を学ぶ。	アルファベットや単語を正確に発音できる。 アルファベットや単語を正確に書ける。	発音テスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断 定期考査
		「外国語理解の能力」			
		発音されたアルファベットや単語を正確に聞き取れる。 クラスルーム英語を理解できる。	アルファベットや簡単な単語を読んだり聞いたりする。 辞書に掲載されている内容を理解する。	アルファベットや単語を正確に読むことや聞き取ることができる。 単語を辞書で調べることができる。	リスニングテスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断 定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		アルファベットの大文字小文字を理解できる。 身近な英単語とカタカナ語の違いを理解できる。	アルファベットの大文字小文字を区別して書く。 クラスルーム英語を状況に応じて使う。	アルファベットの大文字小文字を区別して書ける。 教室で使われる英語を理解できる。	固有名詞を含む単語テスト ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
Warm-up (12 時間)	自己紹介	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自己紹介の内容に関心を持つ。 英語で自己紹介ができる。	ペアワークを通して、自分の自己紹介を英語で行う。	ペアワークを行い自己紹介を発表することができる。	ペアワークの参加状況 発表の観察 定期考査
		「外国語表現の能力」			
		動詞を使って自己紹介ができる。 be 動詞、一般動詞を使って表現できる。	be 動詞と一般動詞を区別できる。 be 動詞と一般動詞を使って自己紹介ができる。	動詞を使った文章が表現できる。 ペアワークで会話できる。自己紹介を英語で発表できる。	ペアワークの参加状況 発表の観察 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「外国語理解の能力」			
		be 動詞と一般動詞を使った表現を理解できる。 英語でされた自己紹介が理解できる。	be 動詞と一般動詞を使った文章を区別できる。	be 動詞と一般動詞を使った文章を正確に理解できる。 英語の自己紹介を理解できる。	定期考査 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「言語や文化についての知識・理解」			
		自分のことや自分の文化について紹介する。 動詞について理解する。	自分の文化を多文化の人に分かりやすく紹介することができる。 動詞を使って自己紹介をする。	英語で自己紹介を be 動詞、一般動詞を使ってできる。	ペアワーク発表の参加状況 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
文法のまとめ (6 時間)	・be 動詞 ・一般動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		一般動詞と be 動詞が使え、動詞の時制を正確に使える。	動詞の種類を理解し区別する。 動詞の時制を理解し、区別する	動詞の適切な使い分けができる。 時制を適切に使える。	ペアワークの参加状況 発表の観察
		「外国語表現の能力」			
		一般動詞と be 動詞を適切に使える。 動詞の時制を正確に理解し、書ける。	動詞の種類を理解し、区別する。 時制について学習し、適切に使う。	動詞の適切な使い分けができる。 時制を適切に使える。	ペアワークの参加状況 ワークシートを提出させ、その完成度で取り組み状況を判断 定期考査
		「外国語理解の能力」			
		一般動詞と be 動詞の違いを理解し、認識できる。動詞の時制を正確に読める。	一般動詞と be 動詞を使った表現を正確に理解できる。 動詞の時制を区別して正確に読める。	一般動詞と be 動詞を正確に理解できる。 動詞の時制を区別して正確に読める。	ペアワークの参加状況 ワークシートの完成度で取り組み状況を判断
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日本語と英語において動詞の使い方の違いを理解できる。	多様な動詞の形を理解する。	多様な動詞の形を区別して使える。	ワークシートの完成度で取り組み状況を判断